

証券コード6859

エスペック株式会社  
2025年度(2026年3月期) 第3四半期決算説明

2026年2月19日

# 2025年度第3四半期 決算概要

- ・受注高は、AI半導体分野は日本、東南アジア、台湾にて試験需要が堅調、衛星通信分野は上期の勢いは落ち着いたものの北米にて堅調、EV・バッテリーフィールドは想定通り減少。第3四半期累計では高水準を維持し、過去最高を更新
- ・売上高は、大型製品や複数台一括の長納期案件が多く、前年同期並み
- ・利益面は、カスタム製品の収益性改善は継続するも、中国市場および受託試験サービスの収益悪化により前年同期比で減少

	前年同期比		修正予想比(2025年11月13日修正)	
受注高	○	装置事業(環境試験器)とその他事業が増加、サービス事業(受託試験)が減少	○	装置事業とその他事業は予想通り、サービス事業は下回る
売上高	○	装置事業の半導体関連装置は増加したが、環境試験器は長納期案件が多く減少、全体では前年同期並み。 サービス事業は受託試験が減少し前年同期並み、その他事業は増加	△	装置事業とその他事業は減少するも第4四半期に計上見込み、 サービス事業は主に受託試験が減少
営業利益	×	中国市場および受託試験サービスの収益悪化、販管費の増加により減少	×	売上高の不足と、中国市場および受託試験サービスの収益悪化により下回る
親会社株主に帰属する四半期純利益	×	営業利益の減少により減益	×	営業利益の減少により下回る

■ 配当予想 中間45円、期末70円、年間115円

# 損益の状況

(百万円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	50,920	55,241	+8.5%
売上高	46,297	47,101	+1.7%
売上原価	29,486	30,564	+3.7%
原価率	63.7%	64.9%	+1.2pt
売上総利益	16,811	16,536	△1.6%
販管費	11,894	12,253	+3.0%
営業利益	4,917	4,282	△12.9%
利益率	10.6%	9.1%	△1.5pt
経常利益	5,213	4,571	△12.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,845	3,321	△13.6%

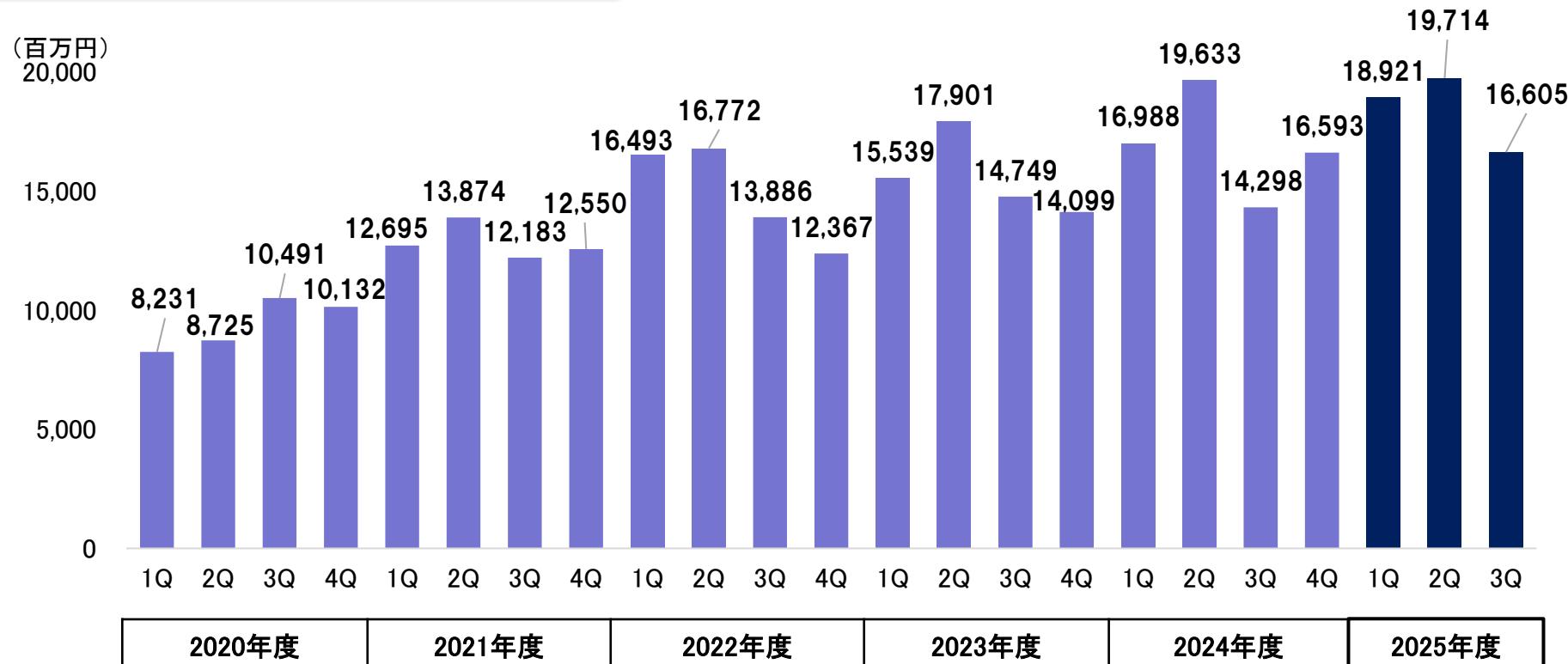
# セグメント別の損益の状況

		(百万円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
装置事業	受注高	43,316	47,220	+9.0%	
	売上高	39,923	40,134	+0.5%	
	営業利益	4,349	4,074	△6.3%	
サービス事業	受注高	6,424	6,286	△2.1%	
	売上高	5,750	5,710	△0.7%	
	営業利益	563	119	△78.9%	
その他事業	受注高	1,554	2,059	+32.5%	
	売上高	929	1,626	+75.1%	
	営業利益	14	87	+525.9%	
連結消去	受注高	△375	△324	-	
	売上高	△305	△370	-	
	営業利益	△10	1	-	
計	受注高	50,920	55,241	+8.5%	
	売上高	46,297	47,101	+1.7%	
	営業利益	4,917	4,282	△12.9%	

# 四半期ごとの受注高推移

- 受注高は例年上期に集中する傾向があり、3Qは1Q、2Qと比べ減少したが、3Q累計では、ターゲット市場のAI半導体関連、衛星通信関連が堅調に推移、5期連続で過去最高を更新

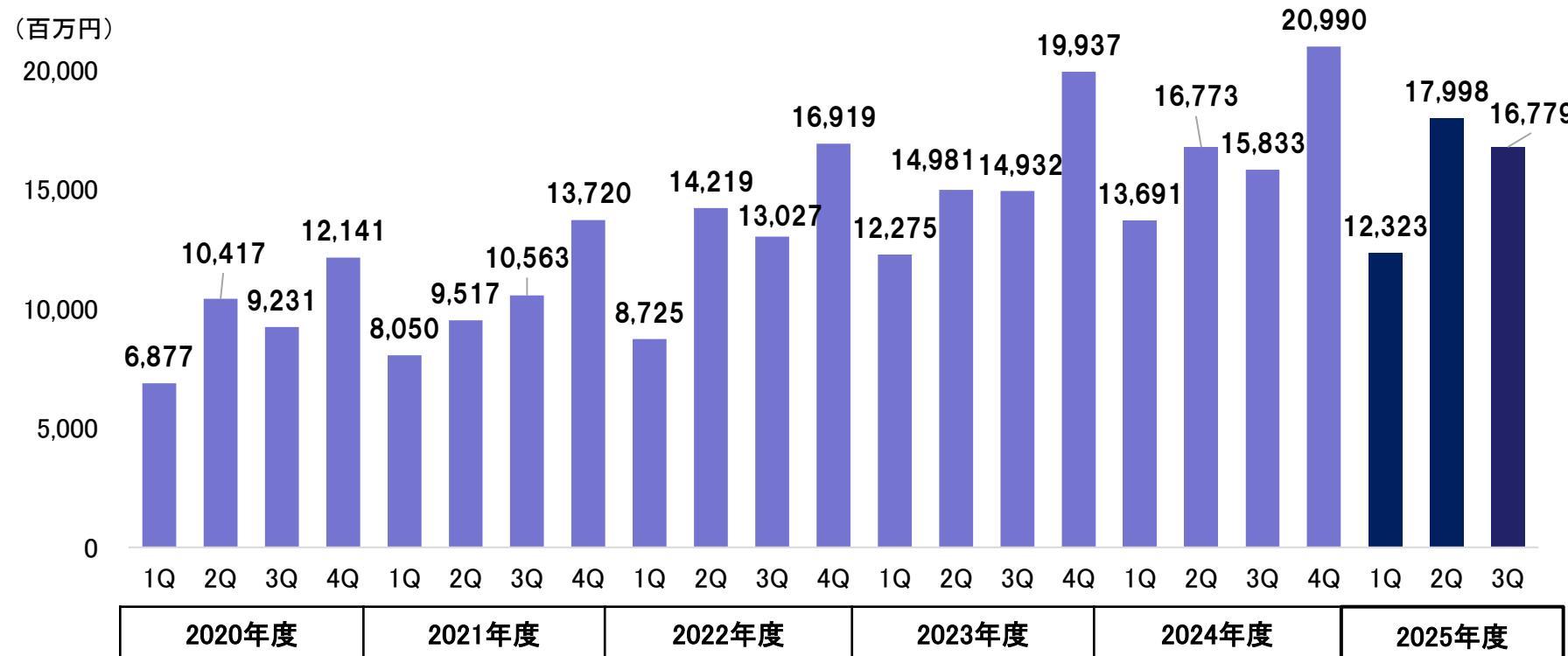
四半期ごとの受注高推移



# 四半期ごとの売上高推移

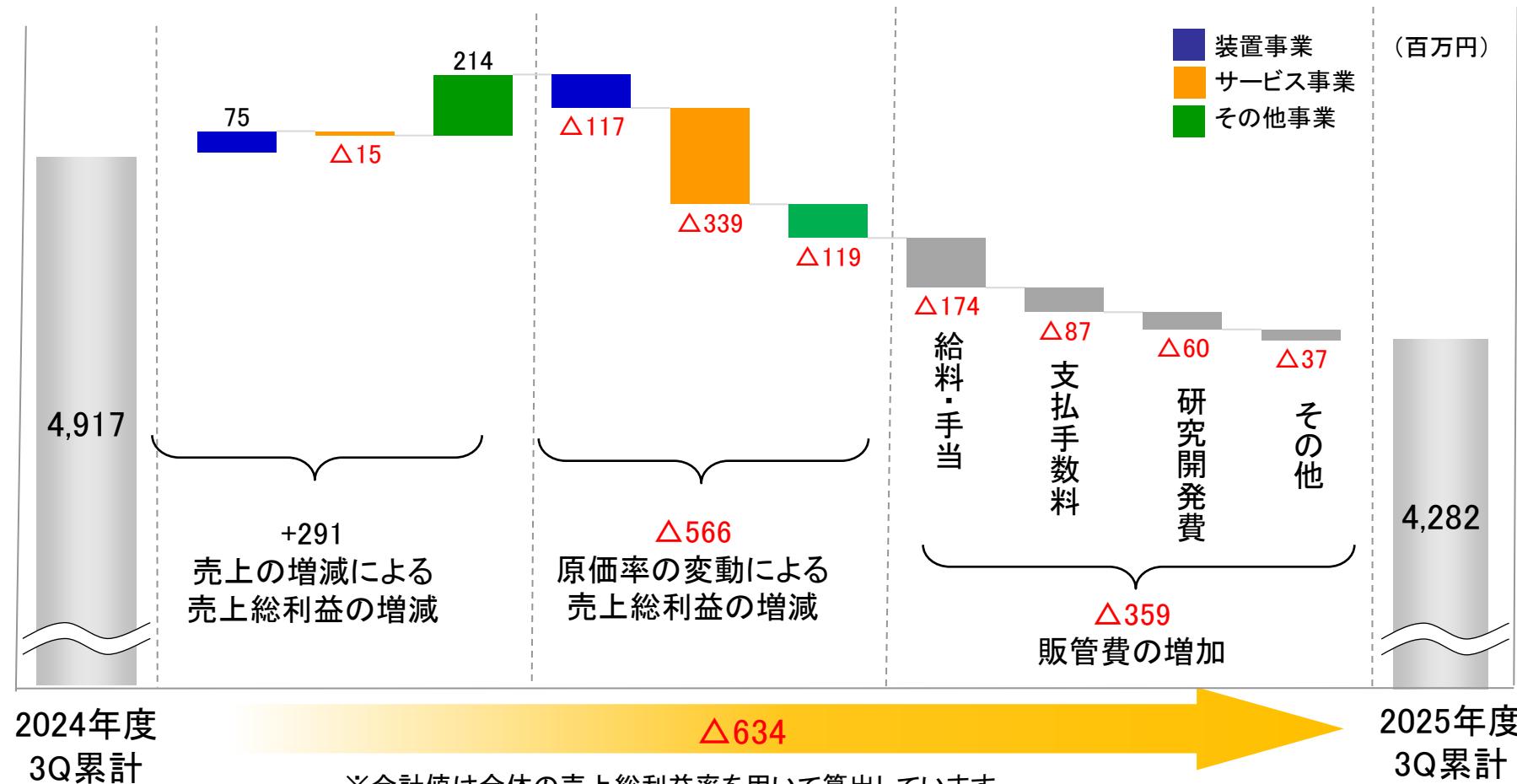
- 売上高は例年2Q、4Qに集中する傾向があり、3Qは2Qより減少  
受注高は堅調だが、大型製品や複数台一括の長納期案件が多く、3Q累計では前年同期並み

四半期ごとの売上高推移



# 営業利益の増減要因分析

- 装置事業はカスタム製品の収益性改善は継続したが、競争激化により中国市場の収益が悪化。
- サービス事業は受託試験の減収や減価償却費の増加により減益。販管費は活動費や研究開発費が増加。



# 装置事業セグメント

(百万円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	43,316	47,220	+9.0%
売上高	39,923	40,134	+0.5%
営業利益	4,349	4,074	△6.3%
利益率	10.9%	10.2%	△0.7pt

## 環境試験器

- 国内では、汎用性の高い標準製品は受注高・売上高ともに前年同期並み  
カスタム製品は、主にEV・バッテリー向け投資の一服感により前年同期比で受注高・売上高ともに減少
- 海外では、前年同期比で受注高は北米、東南アジアにおいて大幅に増加したが、長納期案件が多く売上高は前年同期並み

## エナジーデバイス装置

- EVバッテリー向け投資が一巡し、前年同期比で受注高が大幅に減少したが、  
売上高は前期に受注した一括案件の売上計上があり前年同期並み

## 半導体関連装置

- 受注高は前年同期比で減少したが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上により大幅に増加

# サービス事業セグメント

(百万円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	6,424	6,286	△2.1%
売上高	5,750	5,710	△0.7%
営業利益	563	119	△78.9%
利益率	9.8%	2.1%	△7.7pt

## アフターサービス・エンジニアリング

■ 予防保全サービス・修理サービスとともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

## 受託試験・レンタル

■ EV需要減速に伴う顧客の投資抑制や開発計画の変更の影響を受け、  
前年同期比で受注高・売上高ともに減少

# その他事業セグメント

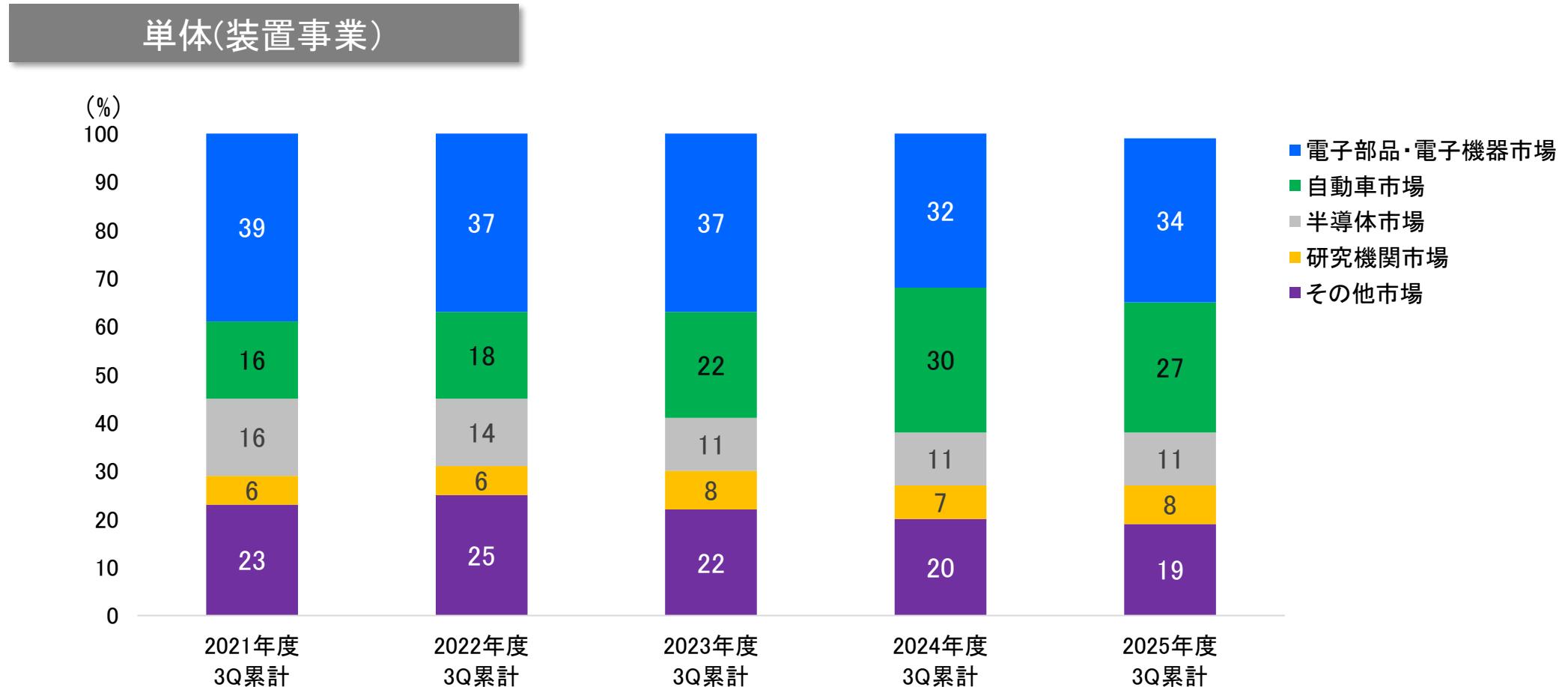
(百万円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	1,554	2,059	+32.5%
売上高	929	1,626	+75.1%
営業利益 利益率	14 1.5%	87 5.4%	+525.9% +3.9pt

## 環境保全・植物育成装置

■ 植物工場の大型案件を獲得するとともに、森づくりも堅調に推移

# 市場別売上構成比

- 電子部品・電子機器市場は、AI半導体関連の試験需要が増加し構成比が上昇  
自動車市場は、EV・バッテリー関連の投資に一服感が見られ構成比が低下

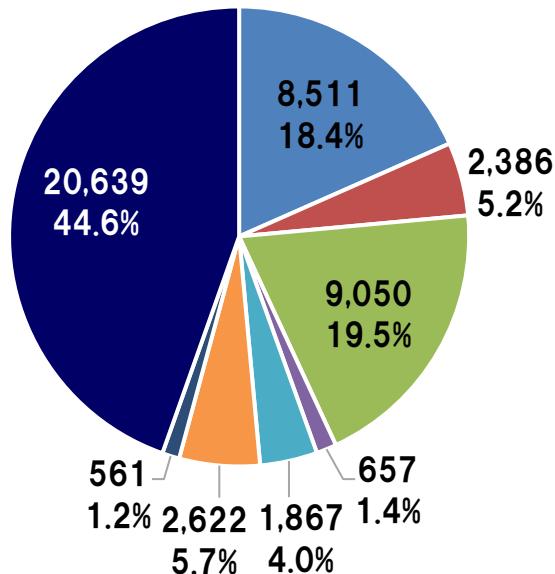


# 地域別売上構成比

■ 売上高は日本、北米、台湾、東南アジア・インドが増加、中国は前年同期並み

2024年度 3Q累計

海外売上高比率:55.4%



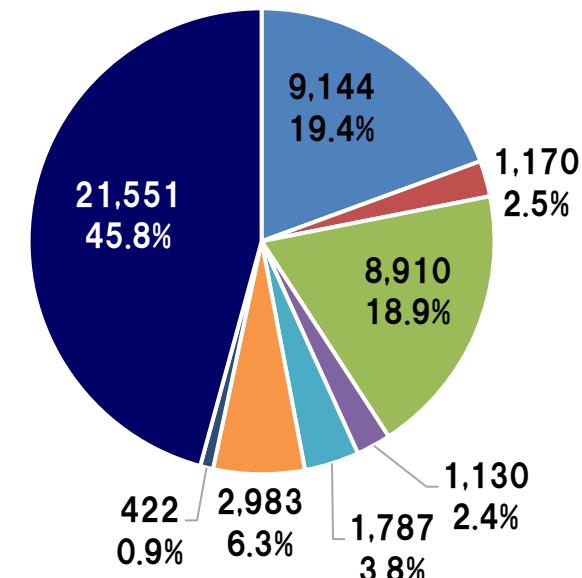
計 46,297百万円

海外売上高:25,658百万円

2025年度 3Q累計

海外売上高比率:54.2%

- 北米
- 歐州
- 中国
- 台湾
- 韓国
- 東南アジア・インド
- その他
- 日本



計 47,101百万円

海外売上高:25,549百万円

# 2025年度通期業績予想

■ 3Q累計では、中国市場および受託試験サービスの収益悪化、販管費の増加により、  
利益面は想定を下回ったが、受注残高の着実な消化と収益化を進め、改善に取り組む

(百万円)	2024年度		2025年度		
	通期 実績	3Q累計 実績	業績予想(2025/11/13修正)		
			4Q	通期	前期比
受注高	67,514	55,241	13,759	69,000	+2.2%
売上高	67,288	47,101	20,899	68,000	+1.1%
売上総利益	23,987	16,536	7,664	24,200	+0.9%
利益率	35.6%	35.1%	36.7%	35.6%	±0pt
販管費	16,460	12,253	4,347	16,600	+0.8%
販管費率	24.5%	26.0%	20.8%	24.4%	△0.1pt
営業利益	7,526	4,282	3,318	7,600	+1.0%
利益率	11.2%	9.1%	15.9%	11.2%	±0pt
経常利益	7,793	4,571	3,179	7,750	△0.6%
利益率	11.6%	9.7%	15.2%	11.4%	△0.2pt
親会社株主に帰属する当期純利益	6,003	3,321	2,479	5,800	△3.4%
利益率	8.9%	7.1%	11.9%	8.5%	△0.4pt
1株当たり 当期純利益(円)	274.97	152.10	113.93	266.03	△3.3%
ROE	11.0%	-	-	10.0%	△1.0pt

# 2025年度 セグメント別の業績予想

		2024年度		2025年度		
		通期 実績	3Q累計 実績	4Q	業績予想 (2025/11/13修正) 通期	前期比
(百万円)						
装置事業	受注高	57,283	47,220	11,420	58,640	+2.4%
	売上高	57,507	40,134	17,426	57,560	+0.1%
	営業利益	6,610	4,074	2,906	6,980	+5.6%
	利益率	11.5%	10.2%	16.7%	12.1%	+0.6pt
サービス事業	受注高	8,532	6,286	2,234	8,520	△0.2%
	売上高	8,425	5,710	2,930	8,640	+2.5%
	営業利益	793	119	381	500	△37.0%
	利益率	9.4%	2.1%	13.0%	5.8%	△3.6pt
その他事業	受注高	2,170	2,059	281	2,340	+7.8%
	売上高	1,758	1,626	674	2,300	+30.8%
	営業利益	126	87	33	120	△5.5%
	利益率	7.2%	5.4%	4.9%	5.2%	△2.0pt
連結消去	受注高	△472	△324	△176	△500	-
	売上高	△403	△370	△130	△500	-
	営業利益	△4	1	△1	0	-
計	受注高	67,514	55,241	13,759	69,000	+2.2%
	売上高	67,288	47,101	20,899	68,000	+1.1%
	営業利益	7,526	4,282	3,318	7,600	+1.0%
	利益率	11.2%	9.1%	15.9%	11.2%	±0pt

# 株主還元方針と2025年度配当予想

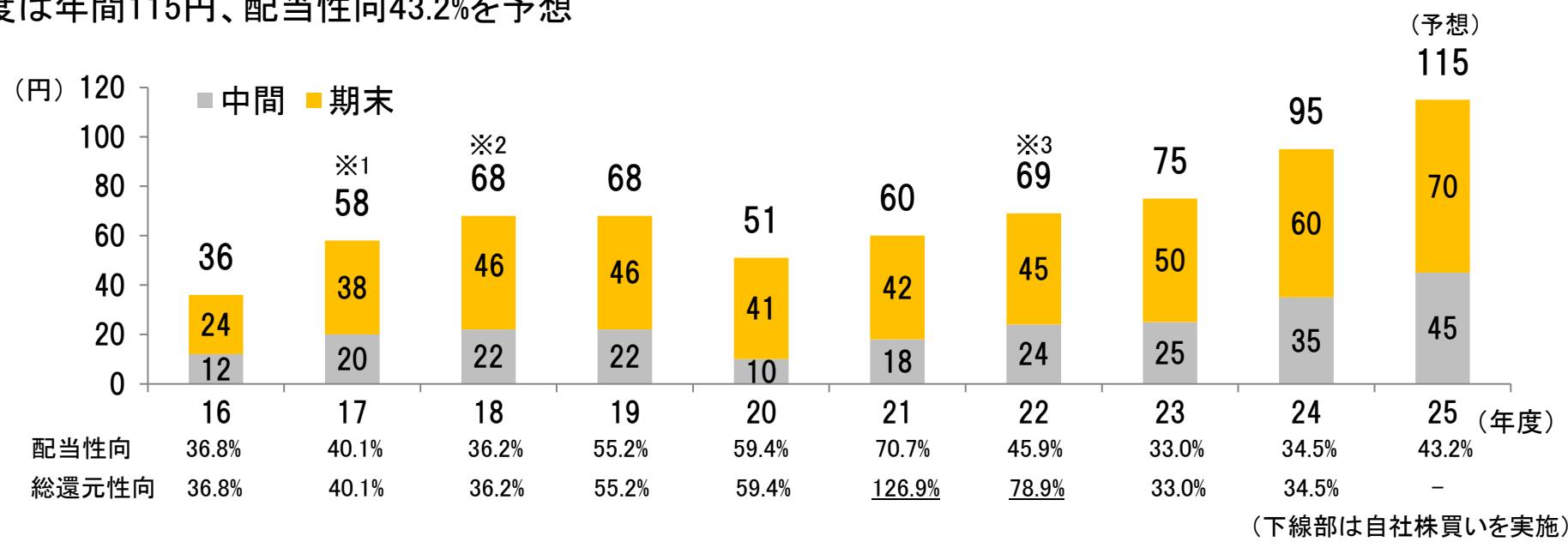
## 株主還元方針

配当性向を40%以上とし自己株式取得を機動的に実施

中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の期間は、3年間累計で総還元性向を50%以上とし減配しない

## 一株当たり配当金と配当性向・総還元性向

2025年度は年間115円、配当性向43.2%を予想



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

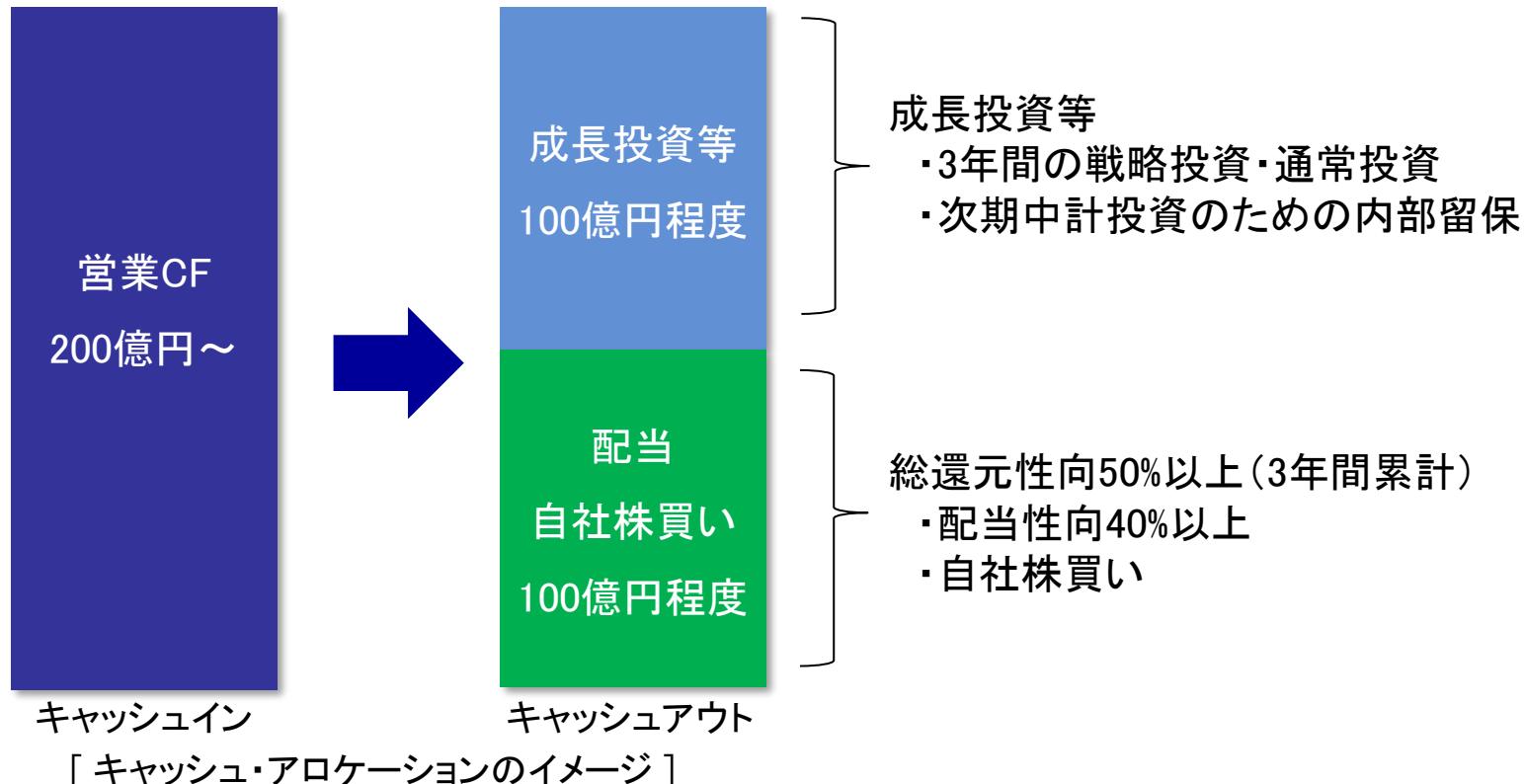
※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

# キャッシュ・アロケーション方針(2025～2027年度)

## キャッシュ・アロケーション方針

3年間で創出したキャッシュを成長投資と株主還元に積極的に配分する

### ■配当と自社株買いで総還元性向50%以上(3年間累計)の株主還元を実施



# 自社株買いの実施（2025年11月13日開示）

株主還元方針に基づき、2025年11月13日、自己株式取得および自己株式の消却に関する基本方針を発表

## ■自己株式取得

- ・取得株数 上限90万株(発行済株式総数の4.05%)
- ・取得価額 上限35億円
- ・取得期間 2025年11月14日～2026年7月31日
- ・取得方法 東京証券取引所における市場買付け

## ■自己株式の消却に関する基本方針

自己株式の保有上限は発行済株式総数の10%程度とし、保有上限を超過した場合は原則として超過相当分を消却する

# 2025年度 主な取り組み

## 装置事業

- ・受注残高の消化、標準製品の販売強化、カスタム製品の収益性改善の継続
- ・ターゲット市場の試験ニーズに合致した高付加価値製品の開発および販売強化

## サービス事業

- アフターサービス：サービス技術料見直し、稼働率改善による原価低減  
受託試験：電動化・自動運転モジュール、航空機器関連の受注拡大

## エリア戦略

- 日本：AI半導体、自動運転分野での営業活動強化、買い替え需要の獲得  
米国：衛星通信分野への販売強化、生産能力増強による収益拡大  
中国：半導体、通信分野への、競争力のある製品投入・販売強化による収益改善

# <AI半導体市場> 環境試験器の用途

生成AIが社会全体に広まるなか、AIサーバーやサーバーを構成する半導体、ストレージ、電子部品、電子材料の信頼性評価を目的に環境試験の需要が高まっています。



## 半導体、ストレージ GPU・メモリ・ロジック



### <主な納入先>

- ・半導体メーカー
- ・ファウンドリー

### <主な用途>

- 加速寿命試験
- スクリーニング(検査)

## 電子部品 コンデンサ・半導体基板・電源



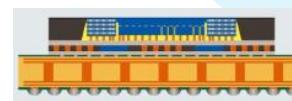
### <主な納入先>

- ・電子部品メーカー
- ・半導体基板メーカー

### <主な用途>

- 電気的特性評価(導通等)
- 動作試験

## 電子材料 基板材料・絶縁材料



### <主な納入先>

- ・材料メーカー
- (基材、レジスト材、モールド材等)

### <主な用途>

- 材料特性評価(吸湿等)
- 保存試験



急速温度変化チャンバー



計測評価システム

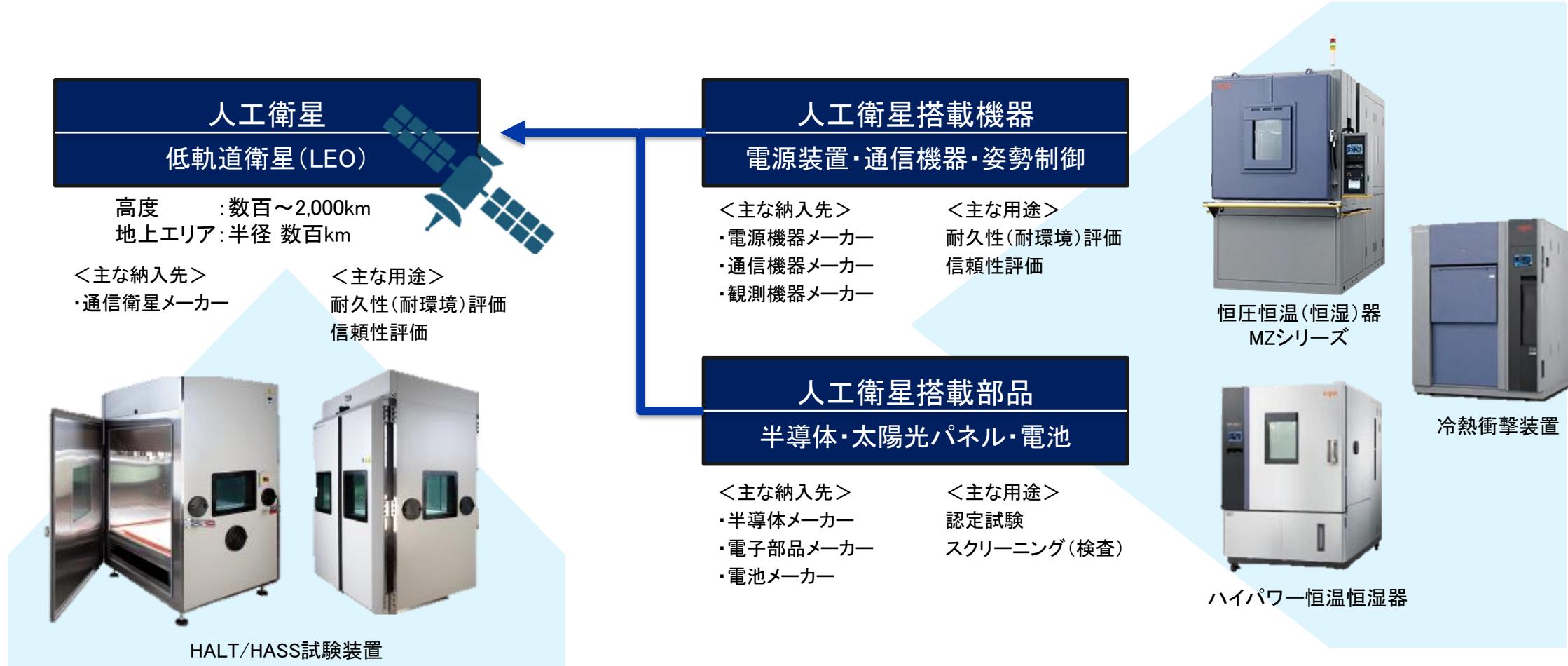
高度加速寿命評価装置  
(HAST CHAMBER)



バーンインチャンバー

# <衛星通信市場> 環境試験器の用途

民間企業の商用衛星通信技術の分野において、低軌道衛星(LEO)や人工衛星に搭載される通信機器や半導体、電子部品の信頼性評価を目的に環境試験の需要が高まっています。



# 2025年度 ESGの主な取り組み

## ■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策：  
低GWP冷媒への置き換え、製造など事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減
- ・生物多様性保全活動：  
環境保全事業による貢献、「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進  
TNFD提言に基づく自然資本関連情報開示

## ■S(社会)

- ・人的資本戦略の展開、新しい人事評価制度の運用開始
- ・インターナルコミュニケーションの推進、健康経営宣言・方針の策定、エンゲージメント調査の実施
- ・女性管理職の育成(2025年4月女性管理職比率9.8%)、障がい者雇用の促進と定着化
- ・従業員向けインセンティブプランの導入(2025年8月従業員持株会、2026年2月経営補佐職層)

## ■G(ガバナンス)

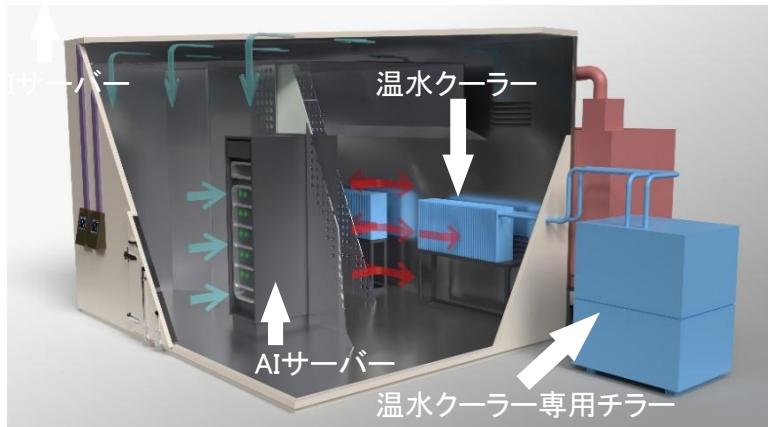
- ・BCPの再構築
- ・人権方針の策定

## AIサーバー市場向け新製品

### ■高発熱負荷対応 恒温恒湿室ウォークインチャンバー

- ・2025年12月、AIサーバーの信頼性評価用として、高発熱負荷に対応した2機種を発売
- ・サーバーによる発熱負荷(30kW、60kW)に対し、独自の制御システムにより精密な温湿度制御を実現
- ・サーバーの信頼性評価に適用される試験規格ASHRAEに適合した試験が可能

<AIサーバーの試験イメージ>



従来の空調システム+温水クーラーを使った空調システムの組み合わせにより湿度環境にて60kW以上の発熱負荷に対応



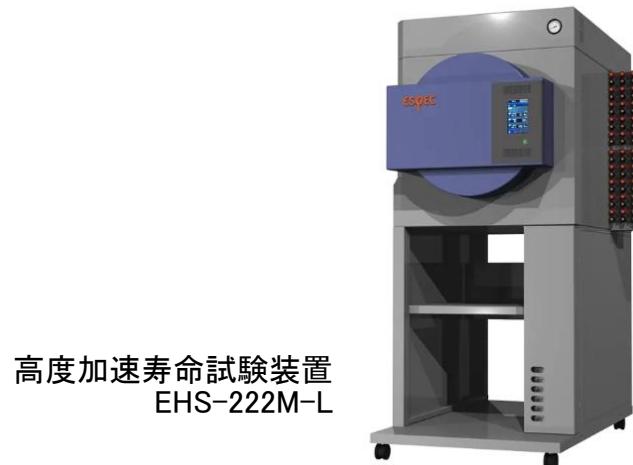
恒温恒湿室ウォークインチャンバー

# TOPICS 2

## AI半導体・自動運転市場向け新製品

### ■高度加速寿命試験装置(HAST CHAMBER) EHS-222M-L

- ・2025年10月、高度加速寿命試験装置に、大型基板の試験に対応したモデル(EHS-222M-L)をラインアップ
- ・一度の試験で大量の試料を評価することが可能
- ・電子部品等の開発期間短縮と高信頼性の確保に貢献



### ■急速温度変化チャンバー TCC-151W-20

- ・2025年4月、急速温度変化チャンバーに試料温度を20°C/分で制御可能なハイパフォーマンスモデルをラインアップ
- ・半導体パッケージの信頼性試験規格、エレクトロニクス、自動車市場などの国際規格に適合
- ・低GWP※冷媒「R-449A」を標準搭載

※GWP: 地球温暖化係数。値が小さいほど環境負荷が少ない



急速温度変化チャンバー  
TCC-151W-20

## 「あいち次世代モビリティ・テ스트ラボ」サービス開始 車載用バッテリーおよびEV・自動化モジュールの試験需要に対応

### ■あいちバッテリー安全認証センター

- ・国内最大級の車載用バッテリー専門試験所として  
2025年2月開設
- ・最新の試験設備により、車載用バッテリーの大型化、大容量化  
に対応
- ・国連規則ECE-R100の安全性試験をはじめとする  
各種試験規格に対応



あいちバッテリー安全認証センター(愛知県常滑市)

### ■豊田試験所

- ・当社最大の総合試験所である豊田試験所の機能を拡張  
(2025年4月サービス開始)
- ・e-Axle・PCU・ECUなど供試品の大型化に対応
- ・EV・自動化モジュールの動作状態での使用環境を再現し、  
評価・計測するサービスを新たに強化



豊田試験所(愛知県豊田市)

# 社外からの評価

## ■ ESG関連の評価

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れ
- ・ESG指数「S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数」組み入れ
- ・CDP 気候変動分野の調査で6年連続「Bスコア」、水セキュリティは2年連続「B-スコア」  
「サプライヤーエンゲージメント評価」では、3年連続最高評価の  
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
- ・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ  
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に2年連続で選定
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 SDGs経営編」3.5星
- ・日本経済新聞社「日経サステナブル総合調査 スマートワーク経営編」3つ星
- ・神戸R&Dセンターが全国みどりの工場大賞「経済産業大臣賞」受賞
- ・厚生労働大臣より「子育てサポート企業」として「プラチナくるみん」取得
- ・大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認証にて  
「三つ星認証」「イクメン推進企業認証」取得

## ■ IRサイトの評価

- ・「Gomez IRサイトランキング」銀賞（業種別5位）
- ・「Gomez ESGサイトランキング」優秀企業
- ・「大和インターネットIR表彰」優良賞
- ・日興アイ・アール「全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



CDP  
Discloser  
2025



S&P/JPX  
カーボン  
エフィシェント  
指標



Supplier  
Engagement  
Leader  
CDP  
2024



NIKKEI  
Smart Work  
★★★ 2026



プラチナくるみん  
子育てサポートしています



女性活躍リーディングカンパニー  
2024 大阪市認証



Gomez  
IR Site  
Ranking  
IRサイト総合ランキング  
銀賞  
2025



Internet IR  
優良賞  
2025  
Daiwa Investor Relations



全国みどりの工場大賞  
National Award for Greenery Factory



企業ホームページ  
最優秀サイト  
2025  
日興アイ・アール  
総合部門

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、  
この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

サステナビリティ推進部 IR・広報グループ

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

E-mail [ir-div@espec.jp](mailto:ir-div@espec.jp)

Quality is more than a word

ESPEC